

第10回織田記念国際シンポジウム
「C型肝炎の現状と課題克服に向けて」

日付：2024年2月20日（火） 13：00－17：00

場所：国立国際医療研究センター5階

開会の挨拶：國土 典宏（国立国際医療研究センター）

武井 貞治（国立国際医療研究センター）

基調講演

座長：考藤 達哉（国立国際医療研究センター）

演者：Prof. Harvey J. Alter（アメリカ国立衛生研究所）

「Hepatitis C: The End of the Beginning and Possibly the Beginning of the End」

休憩

Session 1：C型肝炎の最新情報

座長：四柳 宏（東京大学）

演者1：田中 純子（広島大学）

「日本におけるC型肝炎の疫学：過去・現在・未来における疾病負荷」

演者2：泉 並木（武蔵野赤十字病院）

「日本におけるC型肝炎ウイルスによる自然経過での肝発癌率と治療の進歩による肝発癌抑止」

演者3：考藤 達哉（国立国際医療研究センター）

「日本におけるウイルス肝炎研究と政策の将来像」

休憩

Session 2：HCV/HIV重複感染に対する取り組み

座長：岡 慎一（国立国際医療研究センター）

演者1：江口 晋（長崎大学）

「HIV/HCV重複感染患者に対する肝移植」

演者2：四柳 宏（東京大学）

「HCV/HIV重複感染患者における内科的治療」

演者3：瀧永 博之（国立国際医療研究センター）

「HCV/HIV重複感染に対するACCの取り組み」

閉会の挨拶：満屋 裕明（国立国際医療研究センター）